



# 消化器科 診療実績

消化器科 吉山 一浩、宮崎 貴浩

消化器科は、吉山と宮崎の2人の医師が従事しています。2013年の外来患者数は3129名で年々増加しています(図1)。2013年の外来初診患者数は687人でそのうち437人(63%)が他の医療機関からの紹介患者で、連携医療機関をはじめとする多数の医療機関に支えられており感謝の念に堪えません(図2)。

2013年の入院患者数は294人で、平均在院日数は13.9日でした。主に早期食道癌、早期胃癌、大腸腫瘍(早期癌または腺腫)の内視鏡的治療、ある程度以上進行した食道癌に対する化学放射線治療(抗がん剤+放射線照射)、出血性胃潰瘍などの消化管出血、嚥下障害に対し胃瘻を造設する患者様です。

最も中心としている業務は、内視鏡検査および内視鏡治療です。大きく分けると、保険診療の内視鏡と検診の内視鏡があり、保険診療の内視鏡はほとんど全てを吉山と宮崎が担当しています。検診の内視鏡は、我々以外に宮崎大学第1内科の非常勤医、放射線科医、外科医で担当しています。

2013年の上部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ)は3292件、下部消化管内視鏡検査(いわゆる大腸カメラ)は889件で合計4881件です。このうち523件が内視鏡治療でした。図3に示す様に内視鏡件数は年々増加しています。

2013年の内視鏡検査、内視鏡治療の内訳を図4に示します。内視鏡治療で最も多いのは内視鏡的大腸ポリープ切除術264件です。次いで経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)66件、早期胃悪性腫瘍粘膜下層剥離術(ESD)57件、胃・十二指腸内視鏡的止血術(主に出血性胃・十二指腸潰瘍の止血42件と続きます。

我々が最も力を入れているのが、食道癌、胃癌、大腸腫瘍(癌及び腺腫)の内視鏡治療で、食道癌11件(うちESD:内視鏡的粘膜下層剥離術6件、EMR:内視鏡的粘膜切除術5件)、胃癌58件(ESD53件、EMR5件)でした。

2012年4月から大腸でもESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)が保険適応となり、5cmを超えるような腫瘍も内視鏡的に切除可能となりました。2013年の大腸ESDは14件でした。

内視鏡機器はオリンパス社の最新機器を導入しており、NBI(狭帯域光観察)やEUS(超音波内視鏡)を併用し、診断精度の向上、治療成績の向上を目指しています。

たった2人ではございますが、消化管出血など緊急時を含め可能な限り多数の内視鏡検査・内視鏡治療を行いたいと思います。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。



図1



図2

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
上部消化管検査	2,482	3,053	3,016	3,168	3,292
下部消化管検査	603	625	747	830	889
内視鏡治療件数	391	457	589	517	523



図3

主な検査・治療法	症例数2013年	症例の詳細	
胃内視鏡検査(医療、治療内視鏡を含む)	1774		
胃内視鏡検査(検診)	1448		
内視鏡的食道、胃、十二指腸腫瘍ポリープ切除	95	早期食道悪性腫瘍内視鏡的粘膜切除術	5
		早期食道悪性腫瘍粘膜下層剥離術	6
		早期胃悪性腫瘍粘膜下層剥離術	57
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(その他)	27
内視鏡的消化管止血術	53	胃・十二指腸内視鏡的止血術	42
		小腸結腸内視鏡的止血術	11
食道ステント留置術	10		
経皮内視鏡的胃瘻造設術	66		
食道・胃異物除去術	9		
食道狭窄拡張術	8		
咽頭腫瘍の内視鏡的治療	3		
大腸内視鏡検査(内視鏡治療を含む)	889		
大腸ポリープ切除、粘膜切除術	260		
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	14		
逆行性膵胆管造影	3		
内視鏡的乳頭切開術(碎石を伴う)	13		

図4

## 血液型の仕組み

潤和会記念病院 臨床検査室



### 遺伝子の型

血液型の分類の仕方は1900年オーストラリアのLandsteinerが発見したABO式血液型が定着しています。

子供がどの血液型になるのかは遺伝子の働きによります。すべての人の細胞には、遺伝子が2つずつ含まれています。A型の人は、A遺伝子を2つ持つか、A遺伝子とO遺伝子を各1つ持っています。同じように、B型の人は、B遺伝子を2つ持つか、B遺伝子とO遺伝子を各1つ持っています。またAB型はA遺伝子を1つ、B遺伝子を1つ持つ型であり、O型はO遺伝子を2つ持つ型になります。すなわち、ABO式の4つの血液型は、遺伝子の型でいうと、次の6種類があることになります。

- ▶ A型=AA型、AO型
- ▶ B型=BB型、BO型
- ▶ AB型=AB型
- ▶ O型=OO型

### 優性と劣性

AO型とBO型が、遺伝子を各1つもっているのに、O型にならないのは、O遺伝子がA遺伝子とB遺伝子に対して劣性、いかにすればA遺伝子とB遺伝子がO遺伝子に対して優性だからです。A遺伝子とB遺伝子との間には、優劣関係はありません。ですから、A遺伝子を1つとB遺伝子を1つ持っている人は、AB型にしかありません。

※優性・劣性は子供に現れやすい形質、現れにくい形質という意味です。

### 子供への遺伝

両親の血液型	遺伝子の組み合わせ	子供の血液型の可能性	両親の血液型	遺伝子の組み合わせ	子供の血液型の可能性
A×A	AA, AO×AA, AO	A, O	AB×A	AB×AA, AO	A, AB, B
A×B	AA, AO×BB, BO	A, B, AB, O	AB×B	AB×BB, BO	A, AB, B
B×B	BB, BO×BB, BO	B, O	AB×AB	AB×AB	A, AB, B
A×O	AA, AO×OO	A, O	AB×O	AB×OO	A, B
B×O	BB, BO×OO	B, O	O×O	OO×OO	O

### 血液型の確率

日本人の4つの血液型の割合はO型→29%、A型→39%、B型→22%、AB型→10%です。

### 生後すぐは確定できない

生後間もない赤ちゃんは母体の抗体が移行していたり、血球を固める成分が少ないため、検査が不正確になる場合があります。抗体は生後6カ月～1歳ほどで検査できるレベルまで上昇します。子供の血液型を知るには、1歳を過ぎてから調べてもらうことをお勧めします。